

事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日

平成1年2月3日

2 定款に定める目的

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的としています。

3 定款に定める事業内容

- (1) 理工学に関する研究の助成及び研究者の養成援助
- (2) 理工学に関する研究調査及びその斡旋
- (3) 理工学に関する研究成果の普及
- (4) 先端技術研究に関する情報の収集及び提供
- (5) 理工学に関する教育研究機関と地域社会との連携・交流事業
- (6) その他、本公益財団法人の目的を達成するために必要な事業

4 監督機関に関する事項

岡山県教育委員会

5 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
賛助会員	13社	-1社
	22名	+1名
合計	13社	-1社
	22名	+1名

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所：岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

7 許認可に関する事項

「該当なし」

II 事業の状況

1 事業の実施状況

1. 学術研究助成事業

定款第4条(1)に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

(2) 事業の概要

イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行う

もの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

ロ) 研究助成の種目と助成額

A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2件 1件 200万円 400万円

B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

3件 1件 70万円 210万円

奨励研究 37才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件 1件 30万円 120万円

C) 学術交流推進事業

研究テーマを決めて助成するもので、年齢制限を設けない。

26件 2,125万円

ハ) 募集方法

岡山県下の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布(財団ニュース92号及び財団ホームページに掲載)5月7日に締切った。

ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種別		応募数	採択数	採択率	備考
		件	件	%	
内山勇三科学技術賞	特別研究	3	2	67	学術交流推進事業 応募26件 採択26件
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	16	3	19	
	奨励研究	4	4	100	
計		23	9	7	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	依馬 正	二酸化炭素固定化触媒の開発： 協同効果の利用	万円 200
	岡山大学大学院 環境生命科学 研究科 教 授	西村 伸一	発展型システム信頼性理論を用 いた社会基盤施設群のLCC評価 システムの構築	200
岡山工学振興 会科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (理学系) 教 授	西原 康師	有機薄膜太陽電池用素子ピセン 誘導体の高効率合成	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	大橋 一仁	研削加工の高精度化と砥石長寿 命化を実現する次世代型メタル ボンドダイヤモンド砥石の開発 研究	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 講 師	押木 俊之	工業的に価値あるアクリルアミ ド製造のための新たな固体酸触 媒の開発	70
岡山工学振興 会科学技術賞 奨励研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助 教	關 正憲	電源喪失に対応した位置保持機 構の開発	30
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	山内 利宏	メニーコアプロセッサにおいて 高性能を実現するオペレーティ ングシステム構成法の研究	30
	津山工業高等専門 学校 機械工学科 講 師	北條 智彦	合金元素を添加した超高強度 TRIP型マルテンサイト鋼の遅れ 破壊特性	30
	岡山理科大学 理学部 講 師	岩永 哲夫	芳香族ビスイミドを基盤とした 低分子機能性材料の開発	30

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 教授	瀬沼 武秀	自動車車体の軽量化を実現するホ ットスタンピング技術に関する研 究	万円 50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	30
	岡山大学 教授	高田 潤	機能性酸化鉄の研究開発	20

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	歯車設計技術の高度化に関する研究	万円 100
	川崎医科大学 教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による 内臓肥満抑制の分子基盤解明と新 規治療法の探索	300
	川崎医科大学 教授	原田 保	CDDP 内耳障害における病態の解明	100
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	45
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	250
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	岡山大学 教授	鈴森 康一	次世代アクチュエータの研究	100
	岡山大学 助教	仁科 勇太	機能性炭素マテリアルの研究	30
	岡山大学 教授	仁科 勇太	ハロゲン化触媒の研究開発	10
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	20
	岡山大学 助教	仁科 勇太	ハロゲン化触媒の研究開発	20
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	20
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	100
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	100
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	20
	川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	30
	岡山大学 教授	高田 潤	機能性材料の開発	50
	岡山大学 教授	木股 敬裕	自己集合性ペプチドゲルの高度医 療への応用研究	380
川崎医科大学 教授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	100	
	計		26 件	2,125

2. 国際研究集会等派遣の助成

定款第4条(1)(2)に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

(3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会 13 名に対し、81.9 万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	岡本 康寛	第 31 回レーザと電気工学の応用に関する国際会議	アメリカ アナハイム
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	坪井 和也	第 34 回国際燃焼シンポジウム	ポーランド ワルシャワ
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	後藤 佑介	第 10 回モバイルコンピューティングとマルチメディアに関する国際会議	インドネシア バリ島
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	吉田 幹生	第 5 回アジア粉体工学シンポジウム	中国 シンガポール
岡山大学大学院 自然科学研究科	技術専門職員	中村 有里	2012 年国際材料科学および工学会議 (MS&T' 12)	アメリカ ピッツバーグ
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	木山 雄介	第 13 回ニューアクチュエータに関する国際会議	ドイツ ブレーメン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	眞鍋 諒一	2012 米国電気電子学会ロボット工学とオートメーションに関する国際会議	アメリカ セントポール
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	天野 哲夫	米国電気電子学会 環境電磁工学に関する国際シンポジウム	アメリカ ピッツバーグ
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	瀬島 孝太	米国電気電子学会 環境電磁工学に関する国際シンポジウム	アメリカ ピッツバーグ
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	仏丸 耕介	第 13 回テトラヘドロンシンポジウム—アジア版	台湾 台北
岡山大学大学院 環学生命科学研究科	学生	桑田 康介	暮らしのガラス 2012	イギリス ケンブリッジ
岡山大学大学院 環学生命科学研究科	学生	大村 昂平	暮らしのガラス 2012	イギリス ケンブリッジ
岡山大学大学院 環学生命科学研究科	学生	金西 啓太	暮らしのガラス 2012	イギリス ケンブリッジ

3. 学術研究集会、学術講演会の助成

定款第 4 条 (3) に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

(3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 13 件について、71 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
日本材料学会第 61 期学術講演会	公益社団法人日本材料学会	岡山大学 高田 潤
電気加工懇話会 第 65 回例会	電気加工懇話会	岡山大学 岡本 康寛
西日本支部 創立 30 周年記念シンポジウム・講演会・祝賀会	日本生物工学会西日本支部	岡山大学 二見 淳一郎
STSS2012 (First International Symposium on Socially and Technically Symbiotic Systems)	STSS2012 組織委員会	岡山大学 五福 明夫
四川大学との多様性志向グリーンケミストリーに関するミニシンポジウム	岡山大学大学院自然科学研究科・化学生命工学専攻生命工学講座・有機反応制御学研究室	岡山大学 井口 勉
日本科学者会議第 19 回総合学術研究集会	日本科学者会議第 19 回総合学術研究集会実行委員会	岡山大学 稲垣 賢二
第 47 回有機反応若手の会	第 47 回有機反応若手の会事務局	岡山大学 高口 豊
精密工学会中国四国支部 (岡山地区) 講習会	(公社)精密工学会中国四国支部	岡山理科大学 金枝 敏明
日本生産管理学会中国・四国支部支部研究会	日本生産管理学会中国・四国支部	岡山大学 柳川 佳也
Symposium on Interdisciplinary Researches in Okayama	岡山大学異分野融合先端研究コア	岡山大学 脇元 修一
第 5 回臭素化学懇話会年会	臭素化学懇話会	岡山大学 仁科 勇太
第 45 回中国・四国整形外科学会	川崎医科大学整形外科	川崎医科大 長谷川 徹
第 54 回日本植物生理学会年会	日本植物生理学会	岡山大学 高橋 卓

4. 産学官連携事業の助成

定款第 4 条(5)に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

(2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

(3) 産学官連携研究会等の助成実績

1 件 100 千円

5. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第 4 条(3)(4)に掲げる事業は次により行った。

(1) 学術的研究成果及び学術情報の普及

学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、工学部紀要、並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。

ホームページ (URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>) に掲載

(2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布

学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORT を毎年発行し、県下の大学、研究機関及び企業に配布した。

6. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 岡山口ロボット研究会の開催
- (2) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催
- (3) 「ほっと交流会」の開催

7. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
		円	円	
学術研究助成	KH ネオケム(株)	500,000	500,000	
	杉本クリニック	500,000	500,000	
	日本バイオセンサーズ(株)	500,000	500,000	
	西条愛寿会病院	300,000	300,000	
	DOWA エフテック(株)	200,000	200,000	
	藤田邦雄	1,000,000	1,000,000	
	(医)赤穂中央病院	3,000,000	3,000,000	
	(医)赤穂中央病院	1,000,000	1,000,000	
	ボルケーノジャパン(株)	450,000	450,000	
	アポットバスキューラージャパン(株)	2,500,000	2,500,000	
	テルモ(株)心臓血管カンパニー	500,000	500,000	
	(株)サムスン横浜研究所	1,000,000	1,000,000	
	東レ(株)先端材料研究所	300,000	300,000	
	臭素化学懇話会	100,000	100,000	
	津山第一病院	200,000	200,000	
	(財)松永育英会奨学会	200,000	200,000	
	西条愛寿会病院	200,000	200,000	
	アクテリオンファーマシューティカルスジャパン(株)	500,000	500,000	
	日本ベリンガーインゲルヘルム(株)	1,000,000	1,000,000	
	サノフィー(株)	500,000	500,000	
	(医)清幸会	1,000,000	1,000,000	
	(社)十全会心臓病センター榊原病院	200,000	200,000	
	(医)創治 竹本病院	300,000	300,000	
日本エクスラン(株)	500,000	500,000		
(株)メニコン	3,800,000	3,800,000		
塩野義製薬(株)	1,000,000	1,000,000		
(有)トラクティクルー	500,000	500,000		
	合 計	21,750,000	21,750,000	

2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

3 役員会等に関する事項（理事会、評議員会）

（ア）理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年 6 月 19 日	1. 役員等人事について	可決
	2. 平成 23 年度事業報告について	〃
	3. 諸規程の制定について	〃
	4. 平成 24 年度学術研究助成について	〃
平成 25 年 2 月 5 日	1. 平成 25 年度事業計画について	可決

（イ）評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 24 年 6 月 19 日	1. 平成 23 年度事業報告について	可決
	2. 諸規定の制定について	〃
	3. 平成 24 年度学術研究助成について	〃
平成 25 年 2 月 5 日	1. 平成 25 年度事業計画について	可決

4 正味財産増減の状況及び財産の状況

（単位：千円）

	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 23 年 10 月期	平成 24 年 3 月期
経常収益合計	67,700	59,851	139,426	11,109	19,848
経常費用合計	62,354	74,278	50,922	21,198	18,724
当期正味財産増減額	△87,702	△9,869	64,783	△41,168	25,717
資産合計	277,343	267,811	334,201	292,661	318,762
負債合計	2,133	2,470	2,798	2,427	2,811
正味財産	275,210	265,341	331,403	290,234	315,951

III 法人の課題

「該当なし」

IV 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事 2 名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

V 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

VI 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項
(1)～(6) 「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
 - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
 - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
 - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
 - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
 - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成
岡山県下の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項
「該当なし」